

「桑名若菜会」市文化功労者に

かるた競技 全国大会を開催



伊藤市長から表彰状を受ける桑名若菜会の加藤さん(左)＝桑名市役所で

桑名市は、本年度の市文化功労者にかるた競技の愛好者団体「桑名若菜会」を選び一日、表彰した。会長の加藤誠八段(左)が、伊藤健宇市長から表彰状と市の特産かぶらなを贈られた。

同会は一九三三(大正十三年)、地方では珍しい愛好者団体として発足した。現在は、全国に二百団体以上ある全日本かるた協会の公認団体の一つ、県かるた

協会の中で主導的な役割を果たし、かるた競技の普及に努めるなどとも、全国大会などで数多くの優勝者を出すなど競技面でも活躍する。

毎週、市内の益世まじつくり福祉施設を拠点に活動し、各種かるた大会を開催。中でも毎年、市内で開催の全国大会は今年で七十七回目を数え、七百人以上の参加者を集めている。全日本かるた協会の常務

理事も務める加藤会長は「協会本部のある東京都文京区、女選選手権が行われる福井県あわら市、日本一決定戦が開かれる近江神宮のある大津市。これに続くかるたの聖地に、桑名をしていければ。受賞を機に市、市教委の後押しも受けながら頑張っていきたい」と話した。(谷村卓哉)